

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 石光商事株式会社

コード番号 2750 URL <http://www.ishimitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森本 茂

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 前田 繁幸

TEL 078-861-7828

四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	18,723	—	△356	—	△447	—	△335	—
20年3月期第2四半期	17,750	3.7	△32	—	0	△99.8	△110	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△42.04	—
20年3月期第2四半期	△13.81	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第2四半期	19,182	—	7,024	—	35.6	—	855.75	—
20年3月期	18,750	—	7,264	—	37.7	—	884.14	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 6,837百万円 20年3月期 7,064百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,504	5.0	254	—	131	—	73	—	9.18

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、4ページ定性的情報・財務諸表等4. その他をご覧ください]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 8,000,000株 20年3月期 8,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 10,150株 20年3月期 10,150株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 7,989,850株 20年3月期第2四半期 7,989,850株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機、それに伴う株式・為替・商品市場の急激な変動などにより、企業業績は減速し、景気がさらに下振れするリスクが高まってきました。

当社グループの主力マーケットである飲料・食品業界におきましては、原材料やエネルギー価格の高騰によるコストアップと需要減退による競争激化の狭間で厳しい展開を迫られています。また、食品表示の偽装問題や中国製食品における有害物質の混入事件など、食の安全性を脅かす事件が後を絶たず、食の安心安全がますます強く求められるようになりました。

このような状況の中で、当社グループは「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を目指すべき企業像として掲げ、最適産地の発掘から製造、流通、販促提案、品質管理等の全ての工程に関わり合っただ商品の価値を高めていく、いわゆるマーチャンダイジング活動に全力を注ぎ、「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業を目指しております。また、当期は業績の回復を最重要課題として取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,723百万円（前年同期比5.5%増）と増加いたしました。また、損益面につきましては、取引先の倒産、業況の悪化等により売上債権の取立不能の見込が生じたため貸倒引当金を販売費および一般管理費に488百万円、営業外費用に51百万円を計上いたしました結果、営業損益は356百万円の損失、経常損益は447百万円の損失、四半期純損益は335百万円の損失となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各品目別の売上高の状況は次のとおりであります。

コーヒー生豆の売上高につきましては、販売数量が減少したものの、プレミアムコーヒーが順調に増加いたしましたことおよび相場上昇に伴う販売単価の上昇により、2,497百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

飲料製品および原料の売上高につきましては、インスタントコーヒーが減少したものの、量販店向けコーヒーバッグ、飲料メーカー向け紅茶原料および海外向けコーヒー飲料製品が増加いたしましたことにより、2,236百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

常温食品の売上高につきましては、メーカー商品の国内販売が減少したものの輸出が増加いたしましたことならびにマッシュルーム等の輸入野菜缶詰およびイタリアからの輸入パスタが増加いたしましたことにより、5,027百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

冷凍食品の売上高につきましては、食品メーカー向けのタコ加工品および中国産製品に対する警戒感から冷凍調理加工品が減少したものの、メーカー商品の国内販売および東南アジア向けの輸出ならびに外食店向けのエビ加工品が増加いたしましたことにより、5,048百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

食品原料の売上高につきましては、生鮮野菜や梅干等が減少したものの、トマト加工品およびメーカー向けフルーツ缶詰等が増加いたしましたことにより、3,509百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

その他の売上高につきましては、403百万円（前年同月比80.0%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が19,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ432百万円の増加となりました。これは主に売上債権の増加によるものであります。

負債合計は12,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ672百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加によるものです。

純資産は当第2四半期連結累計期間が335百万円の四半期純損失となりましたことと配当金79百万円の支払等により、前連結会計年度末に比べて240百万円減少の7,024百万円となりました。

### (2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した現金および現金同等物（以下、「資金」という。）は461百万円となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純損失454百万円および売上債権の増加額429百万円等に対し、仕入債務の増加額293百万円等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は94百万円となりました。

これは、投資有価証券の償還による収入109百万円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は619百万円となりました。

これは、借入金の収支による収入705百万円および配当金の支払額79百万円によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における資金は、前連結会計年度末に比べ237百万円増加し、1,724百万円になりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、平成20年9月29日発表の数値を修正しております。

詳細につきましては、本日発表しております「平成21年3月期 第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想との差異および平成21年3月期 通期（連結・個別）業績予想の修正ならびに役員報酬減額に関するお知らせ」をご参照願います。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は7,248千円減少し、営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失はそれぞれ7,248千円増加しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,819,991	1,579,740
受取手形及び売掛金	6,108,888	5,679,421
商品及び製品	4,403,853	4,195,441
未着商品	498,353	615,579
仕掛品	15,758	7,916
原材料及び貯蔵品	55,847	63,520
その他	336,339	398,519
貸倒引当金	△127,333	△3,492
流動資産合計	13,111,697	12,536,646
固定資産		
有形固定資産	2,710,095	2,710,499
無形固定資産	17,352	14,716
投資その他の資産		
投資有価証券	2,866,097	2,966,683
その他	939,706	568,351
貸倒引当金	△462,091	△46,711
投資その他の資産合計	3,343,712	3,488,323
固定資産合計	6,071,160	6,213,538
資産合計	19,182,858	18,750,185

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,450,177	3,156,722
短期借入金	2,168,000	936,800
1年内返済予定の長期借入金	960,208	1,027,004
未払法人税等	9,113	20,908
賞与引当金	81,124	107,969
その他	1,346,196	1,491,309
流動負債合計	8,014,819	6,740,714
固定負債		
長期借入金	3,363,751	3,823,025
退職給付引当金	45,650	43,633
その他	734,596	878,538
固定負債合計	4,143,998	4,745,196
負債合計	12,158,817	11,485,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	5,954,709	6,370,464
自己株式	△4,929	△4,929
株主資本合計	6,929,980	7,345,735
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,247	51,618
繰延ヘッジ損益	△123,889	△333,231
評価・換算差額等合計	△92,642	△281,613
少数株主持分	186,703	200,152
純資産合計	7,024,040	7,264,274
負債純資産合計	19,182,858	18,750,185

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	18,723,595
売上原価	16,619,116
売上総利益	2,104,478
販売費及び一般管理費	
貸倒引当金繰入額	488,435
報酬及び給料手当	526,090
賞与引当金繰入額	69,085
その他	1,377,595
販売費及び一般管理費合計	2,461,208
営業損失(△)	△356,729
営業外収益	
受取利息	7,439
受取配当金	2,124
持分法による投資利益	30,348
その他	28,833
営業外収益合計	68,745
営業外費用	
支払利息	62,620
貸倒引当金繰入額	51,242
その他	46,112
営業外費用合計	159,975
経常損失(△)	△447,959
特別利益	
賞与引当金戻入額	5,653
特別利益合計	5,653
特別損失	
固定資産除却損	9,340
投資有価証券評価損	2,999
特別損失合計	12,340
税金等調整前四半期純損失(△)	△454,646
法人税、住民税及び事業税	3,796
法人税等調整額	△116,948
法人税等合計	△113,151
少数株主損失(△)	△5,637
四半期純損失(△)	△335,857

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△454,646
減価償却費	72,018
貸倒引当金の増減額(△は減少)	539,221
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,845
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,017
受取利息及び受取配当金	△9,563
支払利息	62,620
為替差損益(△は益)	5,785
持分法による投資損益(△は益)	△30,348
固定資産除却損	9,340
投資有価証券評価損益(△は益)	2,999
売上債権の増減額(△は増加)	△429,467
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91,354
仕入債務の増減額(△は減少)	293,454
その他の資産の増減額(△は増加)	△375,743
その他の負債の増減額(△は減少)	35,291
その他	△1,697
小計	△396,916
利息及び配当金の受取額	10,774
利息の支払額	△65,636
法人税等の支払額	△10,139
営業活動によるキャッシュ・フロー	△461,917
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△3,002
有形固定資産の取得による支出	△77,572
無形固定資産の取得による支出	△4,380
投資有価証券の取得による支出	△1,734
子会社株式の取得による支出	△1,300
投資有価証券の償還による収入	109,350
貸付けによる支出	△103,599
貸付金の回収による収入	150,241
その他の支出	△14,774
その他の収入	41,007
投資活動によるキャッシュ・フロー	94,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,770,000
短期借入金の返済による支出	△538,800
長期借入れによる収入	25,000
長期借入金の返済による支出	△551,070
配当金の支払額	△79,598
少数株主への配当金の支払額	△5,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	619,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,945
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	237,249
現金及び現金同等物の期首残高	1,487,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,724,521



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当社グループは同一セグメントに属する食品等の製造、加工、販売を行っており、該当事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

2 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社および在外支店がないため該当事項はありません。

3 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他

## 生産、受注および販売の状況

当社グループ(当社および連結子会社)は単一セグメントに該当するため、品目別に生産、受注および販売の状況を記載しております。

## (1) 生産実績および受注状況

当社グループのうち連結子会社において飲料製品(レギュラーコーヒー)の生産を行っておりますが、グループ事業全体における重要性が低いため、生産実績および受注状況については記載しておりません。

## (2) 商品仕入実績

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	2,647,703	104.08
飲料製品および原料	1,425,229	101.38
常温食品	4,601,390	102.79
冷凍食品	4,415,533	95.97
食品原料	3,204,491	109.86
その他	341,446	132.67
合計	16,635,795	102.68

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 上記のコーヒー生豆の金額には、飲料製品および原料の製品を連結子会社2社で生産するために使用する原料分を含んでおります。

## (3) 販売実績

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	2,497,733	104.39
飲料製品および原料	2,236,897	104.72
常温食品	5,027,708	101.32
冷凍食品	5,048,430	103.95
食品原料	3,509,668	110.39
その他	403,157	179.96
合計	18,723,595	105.48

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 「参考」

## (要約)前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金 額
I 売上高	17,750,509
II 売上原価	15,795,543
売上総利益	1,954,965
III 販売費及び一般管理費	1,987,033
営業損失(△)	△ 32,068
IV 営業外収益	108,229
1 受取利息	5,474
2 受取配当金	2,173
3 持分法による投資利益	73,119
4 その他	27,462
V 営業外費用	75,888
1 支払利息	49,482
2 手形売却損	10,336
3 その他	16,069
経常利益	273
VI 特別利益	5,532
1 固定資産売却益	70
2 投資有価証券売却益	720
3 貸倒引当金戻入益	4,742
VII 特別損失	6,424
1 固定資産売却損	6,275
2 固定資産除却損	40
3 投資有価証券評価損	108
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 618
税金費用	107,871
少数株主利益	1,816
四半期純損失(△)	△ 110,305